

## 町指定文化財

### 10 絹本著色 宝冠弥陀三尊図

ほうかんみださんぞんず



中央に説法印を結ぶ宝冠阿弥陀をおき、左右に勢至菩薩・観音菩薩を配しています。唐から伝来した切金の装飾技法を用いているものの、宗風様式で着衣や台座は細密かつ巧妙に描かれており、南北朝時代から室町時代頃の制作と推察されます。